

ナラティヴ・メディア研究会 特別講演会

ティエリ・グルンステン

描かれた身体

～ 欧米コミックスと紙の上の俳優たち ～

(フランス語による講演：通訳あり)

概要:コミックスに描かれる肉体は、さまざまな点で現実離れしている。傷ついてもすぐ回復し、たいてい老いを知らず、同じ服を着たまの人物たち。コミックスの歴史を振り返ると、その原型には19世紀のブルジョワ批判の諷刺画に見られる肥満体のステレオタイプがある。19世紀後半から現れる子どものヒーローたちは大きな頭、大きな目がトレードマークであった。20世紀のスーパー・ヒーローものでは、筋骨隆々の主人公の超越的パフォーマンスが描かれ、それはしばしばギャグやパロディの対象にもなった。傷ついてもすぐ治る肉体を描く伝統がある一方、コミックスにおいて病はいかに描かれてきたのか？また身体表現を集約する顔の役割とは？本講演では、コミックスが紙上の俳優たちを通して身体表象の可能性を広げると同時に、現代社会における身体のあり方を問うさまについて概観する。

2010年10月15日(金) 15:00～17:00 (終了時刻は変更の可能性があります)

東北大学情報科学研究科 2階 中講義室

(青葉山キャンパス・「情報科学研究科前」下車)

Thierry Groensteen (1957-)

フランス・ベルギーのバンド・デシネを中心としたコミックス史研究の第一人者。フランス・アングレーム在住。著書『マンガのシステム —— コマはなぜ物語になるのか』(1999)の邦訳が2009年に青土社より刊行された。

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します(事前申し込み不要)

問い合わせ先:

情報科学研究科 森田直子 (morita@media.is.tohoku.ac.jp 電話 022-795-4788)

文学研究科 森本浩一 (xkc-m2rt@sal.tohoku.ac.jp 電話 022-795-5969)

L'INSTITUT

協力：東京日仏学院 東京日仏学院